

トレンド調査 —“1人暮らしの社会人が東京で幸せに暮らすために必要な住まいの条件”調査—**1人暮らしの社会人が東京で幸せに暮らせる“家の広さ” 34.0㎡**

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区)は、東京で一人暮らしをする社会人男女624名を対象に、1人暮らしの社会人が東京で幸せに生活するのに最低限必要な、「家の広さ」、「間取り」、「駅徒歩」などの住まいの条件を調べる、「1人暮らしの社会人が東京で幸せに生活するために必要な住まいの条件」調査を実施しました。

<主な調査結果>

- ◆ 最低限必要な“家の広さ”平均34.0㎡、“間取り”1K
- ◆ 許容できる“自宅から最寄り駅までの徒歩分数”平均13.0分、“通勤時間”平均49.1分
- ◆ 少なくとも必要な“年収”平均428.3万円
- ◆ 最低限必要な“自宅でゆっくり過ごす時間”平均4時間27分
- ◆ 最低限必要なもの1位「食べ物」2位「住居」3位「衣服」
- ◆ 「住まいの風通し良さ」は「必要」79.0%
- ◆ 最低限必要な“冬用トップス”平均6.7着

<調査概要>

- ◆対象/東京都で一人暮らしをしている、20~50代独身サラリーマン男女、計624名(男女各312名)
- ◆調査方法/インターネットリサーチ
- ◆調査期間/2017年10月6日(金)~10月7日(土)

◇内訳

性別	人数	割合
	全体	624名
男性	312名	50.0%
女性	312名	50.0%

年齢	人数	割合
	全体	624名
20代	156名	25.0%
30代	156名	25.0%
40代	156名	25.0%
50代	156名	25.0%

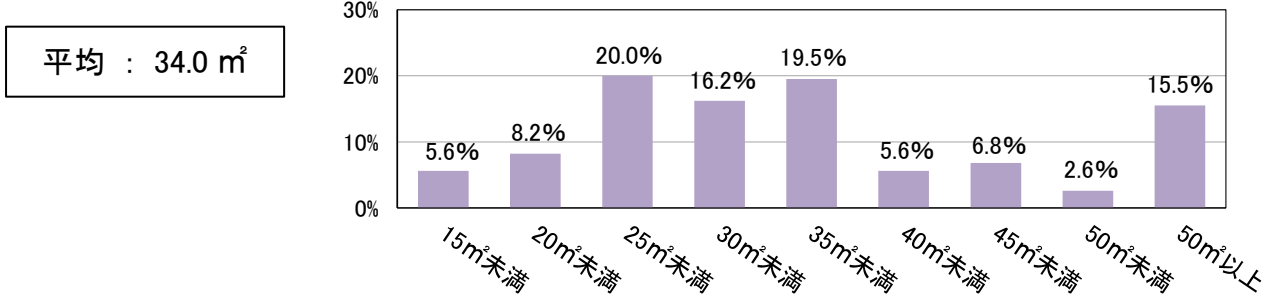
居住形態	人数	割合
	全体	624名
マンション持ち家	86名	13.8%
一戸建て持ち家	27名	4.3%
賃貸一戸建て	8名	1.3%
賃貸マンション	257名	41.2%
賃貸アパート	205名	32.9%
公営・公団住宅	15名	2.4%
給与住宅(寮・社宅・官舎等)	26名	4.2%

<調査結果>

■1人暮らしの社会人が東京で幸せに暮らすために最低限必要な“家の広さ”平均 34.0㎡、“間取り”1K

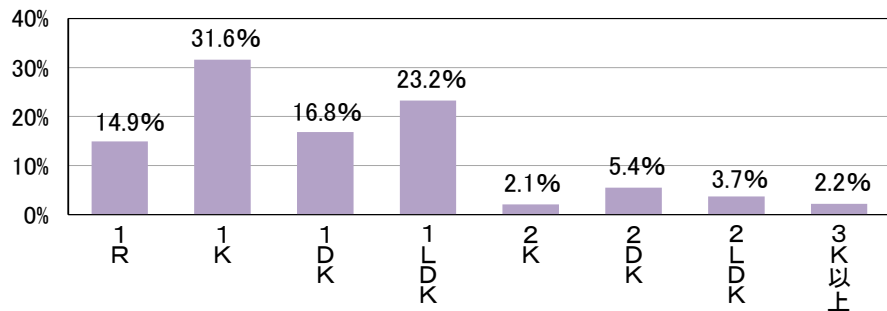
Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【家の広さ(延床面積)】を㎡でお答えください。(対象:624名、有効回答:586名、フリーアンサー)

◇【家の広さ(延床面積)】分布



Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、自宅の【間取り】をお答えください。(対象:624名、有効回答:624名)

◇【間取り】分布

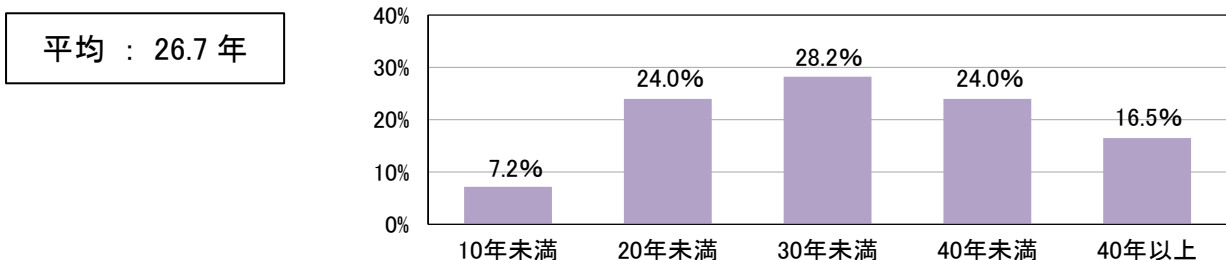


1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う“広さ”は、平均 34.0㎡で、最も多かったのは「20㎡以上 25㎡未満」でした。なお、現在居住している住まいの広さは平均 36.0㎡でした。

“間取り”に関しては、「1K」が最も多く、3割以上にのびました。なお、現在の住まいの間取りも、「1K」が 41.2%と最も多く、次いで「1R」が 13.9%でした。

Q. 【築年数】は、最低限(古くても)築何年までの住まいなら、1人暮らしの社会人が東京で幸せに暮らせると思いますか？(対象:624名、有効回答:624名、フリーアンサー)

◇【築年数】分布



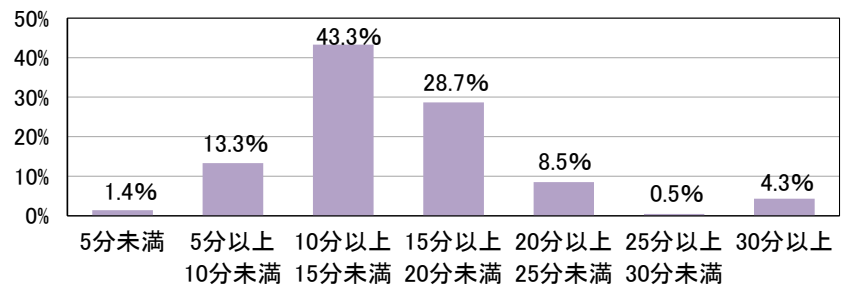
古くても築何年までの住まいなら、1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らせると思うかを聞いたところ、平均 26.7年、最も多かったのは「20年以上 30年未満」で約3割でした。なお、現在の住まいの築年数は平均 20.7年でした。

■許容できる“自宅から最寄り駅までの徒歩分数”平均 13.0 分、“通勤時間”平均 49.1 分

Q. 【自宅から最寄り駅までの徒歩分数】は、最低限(長くても)何分までなら、1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らせると思いますか？(対象:624名、有効回答:624名、フリーアンサー)

◇【自宅から最寄り駅までの徒歩分数】

平均 : 13.0 分

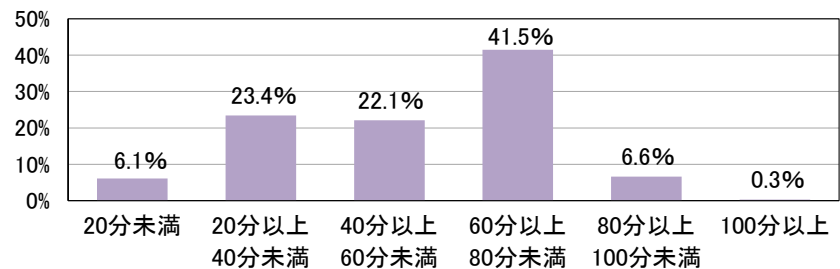


“自宅から最寄り駅までの徒歩分数”が、長くても何分までなら、1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らせると思うかを聞いたところ、平均 13.0 分で、最も多かったのは「10分以上 15分未満」、次いで「15分以上 20分未満」でした。なお、現在の自宅から最寄り駅までの徒歩分数は平均 8.9 分でした。

Q. 【通勤時間(片道)】は、最低限(長くても)何分までなら、1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らせると思いますか？(対象:624名、有効回答:624名、フリーアンサー)

平均 : 49.1 分

◇【通勤時間(片道)】分布



“片道の通勤時間”が、長くても何分までなら、1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らせると思うかを聞いたところ、平均 49.1 分で、最も多いのは「60分以上 80分未満」でした。なお、現在の通勤時間は、平均 38.3 分でした。

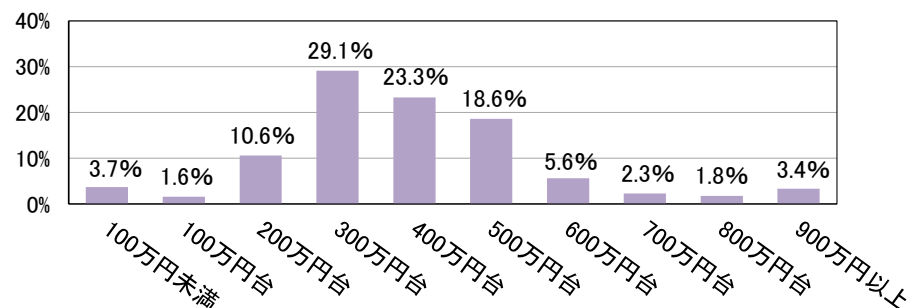
■少なくとも必要な“年収”平均 428.3 万円

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【年収】をお答えください。(対象:624名、有効回答:622名、フリーアンサー)

◇【年収】分布

平均 : 428.3 万円

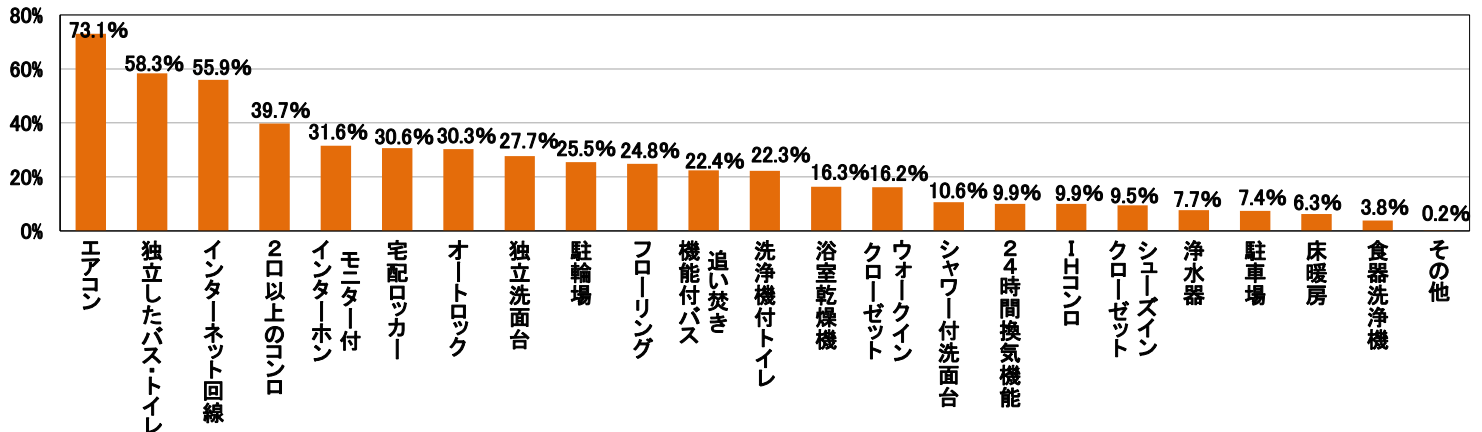
男性平均 : 482.2 万円
女性平均 : 374.8 万円



1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、少なくとも必要だと思う“年収”は、平均428.3万円、最も多い金額帯は「300万円台」でした。男女で分けてみると、男性は平均482.2万円であるのに対し、女性は平均374.8万円と、男女でかなりの差がみられました。ちなみに、現在の年収は、男性が平均481.4万円、女性が390.2万円でした。

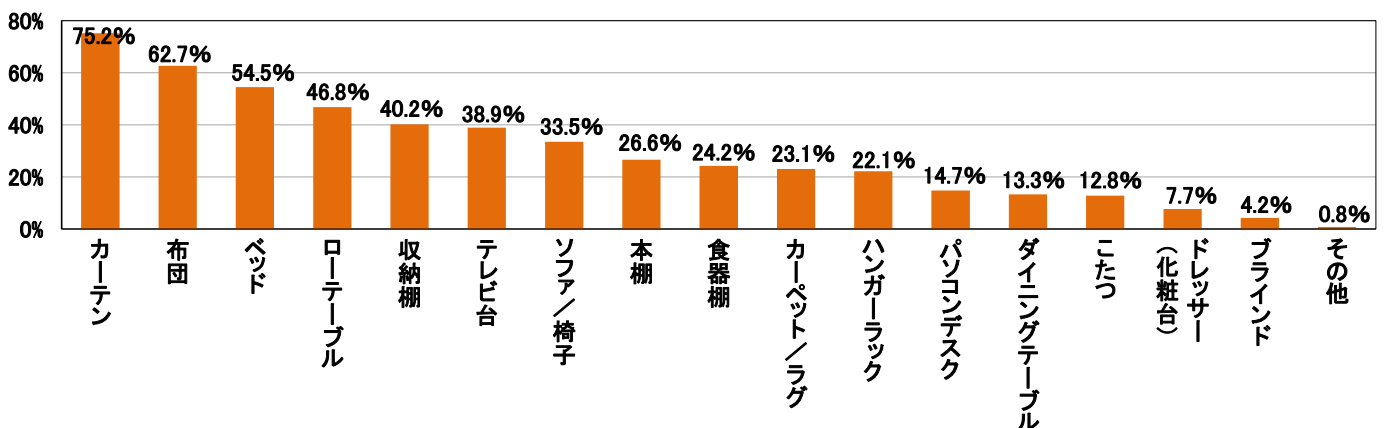
■最低限必要な設備 1位「エアコン」

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに生活するために、最低限必要だと思う、自宅の【設備・仕様】をお答えください。(対象:624名、有効回答:624名、複数回答可)



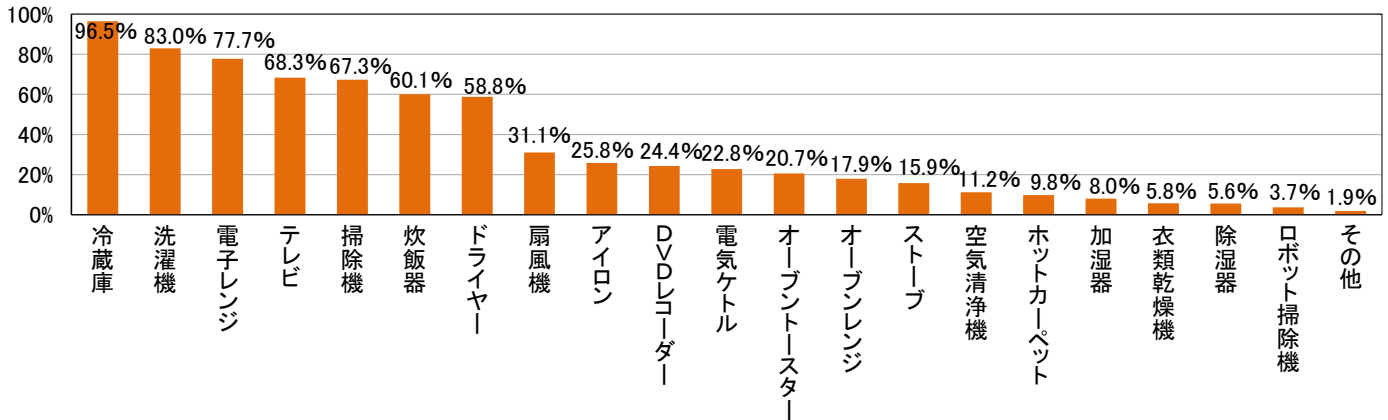
1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う自宅の“設備・仕様”は、1位「エアコン」73.1%、2位「独立したバス・トイレ」58.3%、3位「インターネット回線」55.9%という順番でした。ちなみに、現在の自宅にある設備・仕様では、「エアコン」88.5%、「独立したバス・トイレ」74.0%、「インターネット回線」61.7%でした。上位3項目とも、現在の住まいが条件を満たしており、現状に満足している人が多いようです。男女別でみると、「独立洗面台」「モニター付きインターホン」「オートロック」で、それぞれ20ポイントほど女性の方が高い結果でした。

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに生活するために、最低限必要だと思う、自宅の【家具・インテリア】をお答えください。(対象:624名、有効回答:624名、複数回答可)



1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う“家具・インテリア”は、1位「カーテン」75.2%、2位「布団」62.7%、3位「ベッド」54.5%という順番でした。男女別でみると、「パソコンデスク」は男性が10ポイント以上高く、「ローテーブル」「カーテン」は、それぞれ20ポイント以上女性が高い結果でした。

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに生活するために、最低限必要だと思う、自宅の【家電製品】をお答えください。(対象:624名、有効回答:624名、複数回答可)

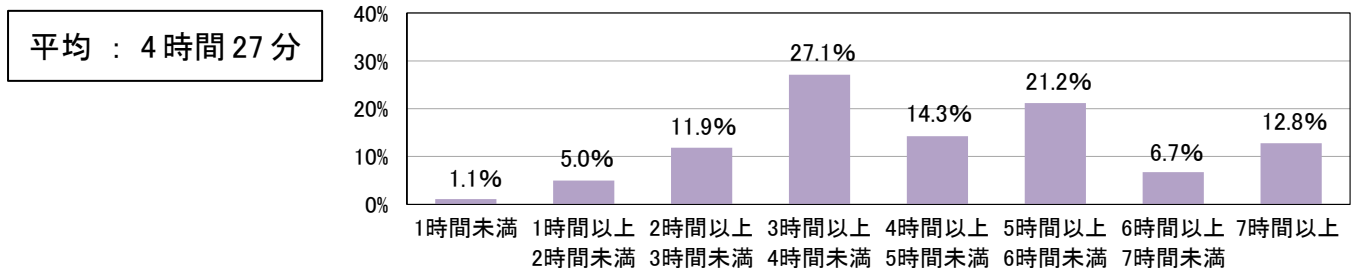


1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う“家電製品”は、1位「冷蔵庫」96.5%、2位「洗濯機」83.0%、3位「電子レンジ」77.7%という順番でした。男女別で見ると、「ドライヤー」「アイロン」で、それぞれ女性が25ポイント以上高い結果でした。

■最低限必要な“自宅でゆっくり過ごす時間”平均4時間27分

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【仕事がある日に、自宅でゆっくり過ごす時間】をお答えください。(対象:624名、有効回答:624名、フリーアンサー)

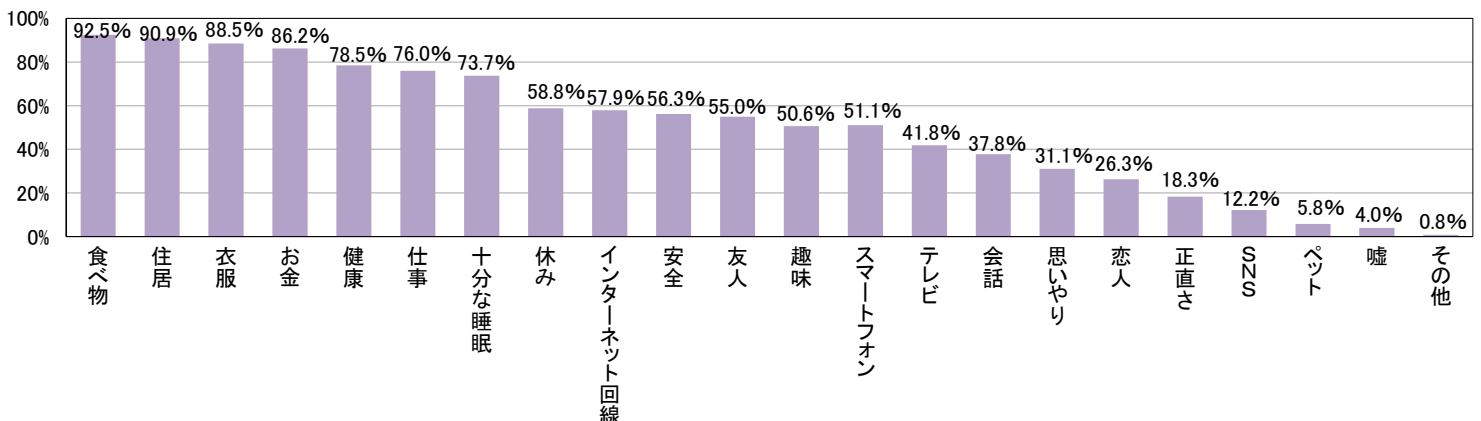
◇【仕事がある日に、自宅でゆっくり過ごす時間】分布



1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う“仕事がある日に自宅でゆっくり過ごす時間”は、平均4時間27分、最も多いのは「3時間以上4時間未満」でした。なお、現在の、仕事がある日に自宅でゆっくり過ごす時間の平均は4時間13分でした。

■最低限必要なもの 1位「食べ物」 2位「住居」 3位「衣服」

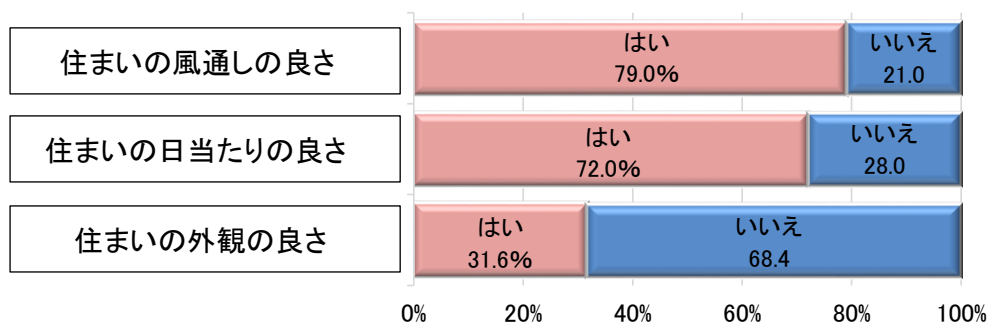
Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思うものをお答えください。(対象:624名、有効回答:624名、複数回答可)



1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思うものは、1位「食べ物」、2位「住居」、3位「衣服」でした。「仕事」や「十分な睡眠」といった回答も、7割を超えています。

■「住まいの風通し良さ」は「必要」 79.0%

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、住まいの日当たりの良さ/住まいの風通しの良さ/住まいの外観の良さは必要だと思いますか？(対象:624名、有効回答:624名)



1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、「住まいの風通しの良さ」が必要かを聞いたところ、約8割が「必要」と回答しました。また、「住まいの日当たりの良さ」は72.0%が「必要」と答え、いずれも高い割合となっています。一方、「住まいの外観の良さ」については、「必要」と回答したのは31.6%と、約3割に留まりました。

■最低限必要な“冬用トップス”平均 6.7着

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【お皿の枚数】をお答えください。(対象:624名、有効回答:615名、フリーアンサー)

平均 : 5.7 枚	男性平均 : 5.1 枚 女性平均 : 6.3 枚
------------	------------------------------

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【冬用のトップスの数】をお答えください。(対象:624名、有効回答:623名、フリーアンサー)

平均 : 6.7 着	男性平均 : 5.2 着 女性平均 : 8.2 着
------------	------------------------------

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【ボトムスの数】をお答えください。(対象:624名、有効回答:623名、フリーアンサー)

平均 : 5.2 着	男性平均 : 4.1 着 女性平均 : 6.3 着
------------	------------------------------

Q. 1人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、【靴の数】をお答えください。(対象:624名、有効回答:624名、フリーアンサー)

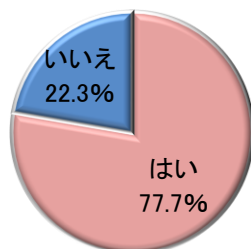
平均 : 4.7 足	男性平均 : 4.1 足 女性平均 : 5.3 足
------------	------------------------------

他にも、最低限必要だと思う食器や衣服について聞いたところ、“お皿の枚数”は平均 5.7 枚でした。

“冬用のトップスの数”は平均 6.7 着ですが、男女別で見ると、女性の方が男性よりも 3 着上回りました。また、“ボトムスの数”も、男性が 4.1 着、女性が 6.3 着と、女性の方が多い結果でした。さらに、“靴の数”は、平均 4.7 足で男性が 4.1 足、女性が 5.3 足と、こちらも女性の方が必要だと思う数が多いようです。

■最低限必要な条件を「満たしている」77.7%

Q. 現在のお住まいは、1 人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすための最低限必要な条件を満たしていると思いますか？(対象:624 名、有効回答:624 名)



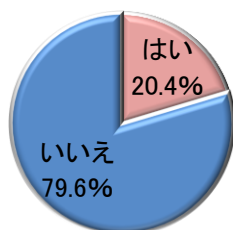
実際に、現在の住まいは、1 人暮らしの社会人が、東京で幸せに暮らすために最低限必要な条件を「満たしている」という人は 77.7%でした。全体を通してみると、現在の住まいの条件に対して、「最低限必要だと思う」条件の数値が現状を下回るものが多いことから、もう少し水準を下げても、幸せな生活ができるという人が多いのかもしれない。

■ミニマリスト「なりたい」 36.1%

Q. あなたは、“ミニマリスト”ですか？

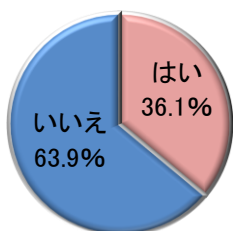
※ミニマリストとは、最低限必要なものしか持たない人のことを指します。

(対象:624 名、有効回答:624 名)



最低限必要なものしか持たずに生活をする“ミニマリスト”であるかを聞いたところ、約 2 割が「ミニマリストだ」と答えました。

Q. “ミニマリスト”になりたいと思いますか？(対象:624 名、有効回答:624 名)



“ミニマリスト”になりたいと思うかを聞いたところ、36.1%が「なりたい」と答えました。

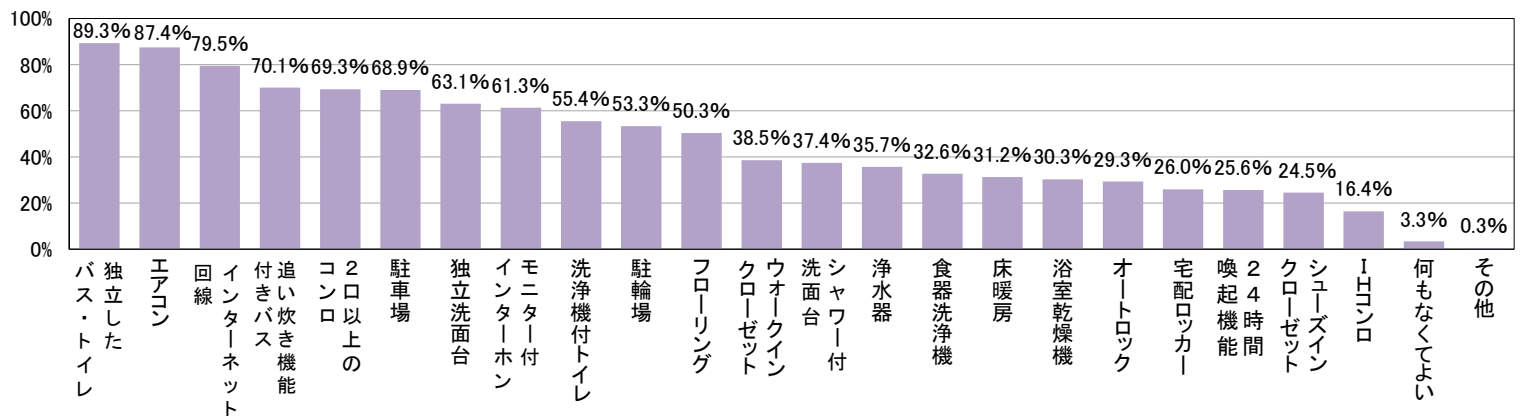
《参考》

2017年7月に実施した「4人家族が幸せに暮らすために必要な住まいの条件」調査の主な結果

対象：1都3県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）在住、10代の子供2名と、自分と配偶者の計4名で同居をしている、既婚男女30～50代、計628名（男女各314名）

- 4人家族が幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、自宅の“間取り” 最多回答「4LDK」40.8%
- 4人家族が幸せに暮らすために、最低限必要だと思う、“家の広さ(延床面積)” 平均 89.0 m²
- 4人家族が幸せに暮らせる“駅徒歩の限界” 平均 18.4分
- 4人家族が幸せに暮らせる“通勤時間の限界” 平均 57.1分
- 4人家族が幸せに暮らすために最低限必要だと思う、自宅の“設備・仕様” 1位「独立したバス・トイレ」
- 現在の住まいは4人家族に最低限必要な条件を“満たしている” 80.9%

□4人家族が幸せに暮らすために最低限必要だと思う、自宅の“設備・仕様”



4人家族の調査と、今回の1人暮らしの社会人の調査結果を比較してみると、全体的にやはり1人暮らしの方が低い水準であることがわかります。特に必要と感じている“設備・仕様”に関してはポイントの差が大きく、「駐車場」で61.6ポイント、「追い炊き機能付きバス」で47.6ポイント、「独立洗面台」で35.3ポイント、4人家族の調査をそれぞれ下回りました。一方、「宅配ロッカー」については、1人暮らしの社会人の調査結果が4.7ポイント上回っていて、生活スタイルの違いが、必要な設備にも反映されているようです。

現在の住まいは最低限必要な条件を“満たしている”という人は、両調査とも約8割にのぼり、大きな差はみられませんでした。